

社会資本総合整備計画（市街地整備） 中間評価書

平成 27 年 3 月 19 日

計画の名称	安心して快適に暮らすことができる住みよい都市『豊橋』の形成																																		
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）			交付対象	豊橋市																														
計画の目標	本市は気候が温暖で、市域全体にわたり緑が充実しており、市民の意識としても多くの方が「住みやすい」と意識しています。その本市の特徴である「住みやすい」をキーワードとし、自然災害や交通災害に強い安全・安心で緑豊かなゆとりが満ちた快適な生活環境を確保し、その本市の都市イメージとしての住みよさを強調・発信することにより本市への転入促進を図り、さらに、中心市街地における魅力創造拠点プロジェクトとしての芸術・文化の交流拠点整備を行い、にぎわいの再生を図る。これらの相乗効果により、安心して快適に暮らすことができる住みよい都市『豊橋』を形成する。																																		
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業施行区域内における建築行為許可件数を339件（H22）から1,070件（H27）に増加 ・市民が身近に利用できる公園の整備率を41.0%（H23）から41.5%（H27）に増加 ・駅東口周辺3地点における休日歩行者通行量を18,298人/日（H21）から19,300人/日（H27）に増加 ・入園者数を675,624人/年（H23）から700,000人/年（H27）に増加 																																		
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">① 土地区画整理事業地区内において、土地区画整理法第76条に基づく建築行為許可件数（住居建築に関する件数）の累計を算定する。</th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23当初)</th> <th>中間目標値 (H25末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> <tr> <td>339 件</td> <td>770 件</td> <td>1,070 件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>② 市内において、市民の生活圏内に様々な規模・緑地が体系的に整備されている状態を100とした場合の実際の整備率を算出する。 〔市民が身近に利用できる公園整備率〕＝〔供用箇所数×〔平均供用面積/公園・緑地標準面積〕/（住区数×1住区の公園・緑地標準箇所数）〕%</th> <td>41.0%</td> <td>41.2%</td> <td>41.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <th>③ 駅東口周辺の芸術文化交流施設に近い3地点における休日歩行者通行量を測定して合計する。</th> <td>18,298人/日</td> <td>19,100人/日</td> <td>19,300人/日</td> <td></td> </tr> <tr> <th>④ 豊橋総合動植物公園への入園者数</th> <td>675,624人/年</td> <td></td> <td>700,000人/年</td> <td>事業最終年度はH32となっており H32最終目標値は1,000,000人/年</td> </tr> </table>							① 土地区画整理事業地区内において、土地区画整理法第76条に基づく建築行為許可件数（住居建築に関する件数）の累計を算定する。	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	339 件	770 件	1,070 件			② 市内において、市民の生活圏内に様々な規模・緑地が体系的に整備されている状態を100とした場合の実際の整備率を算出する。 〔市民が身近に利用できる公園整備率〕＝〔供用箇所数×〔平均供用面積/公園・緑地標準面積〕/（住区数×1住区の公園・緑地標準箇所数）〕%	41.0%	41.2%	41.5%		③ 駅東口周辺の芸術文化交流施設に近い3地点における休日歩行者通行量を測定して合計する。	18,298人/日	19,100人/日	19,300人/日		④ 豊橋総合動植物公園への入園者数	675,624人/年		700,000人/年	事業最終年度はH32となっており H32最終目標値は1,000,000人/年
① 土地区画整理事業地区内において、土地区画整理法第76条に基づく建築行為許可件数（住居建築に関する件数）の累計を算定する。	定量的指標の現況値及び目標値			備考																															
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																																
339 件	770 件	1,070 件																																	
② 市内において、市民の生活圏内に様々な規模・緑地が体系的に整備されている状態を100とした場合の実際の整備率を算出する。 〔市民が身近に利用できる公園整備率〕＝〔供用箇所数×〔平均供用面積/公園・緑地標準面積〕/（住区数×1住区の公園・緑地標準箇所数）〕%	41.0%	41.2%	41.5%																																
③ 駅東口周辺の芸術文化交流施設に近い3地点における休日歩行者通行量を測定して合計する。	18,298人/日	19,100人/日	19,300人/日																																
④ 豊橋総合動植物公園への入園者数	675,624人/年		700,000人/年	事業最終年度はH32となっており H32最終目標値は1,000,000人/年																															
全体事業費	合計 (A+B+C)	14,832百万円	A	12,027百万円(うち提案事業分 70百万円)	B	0百万円	C	2,805百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C) / (A+B+C)	19.38%																									

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期		中間評価の実施時期	平成27年3月
中間評価の実施体制		公表の方法	豊橋市ホームページにて公表
区画整理課、公園緑地課、文化課			

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H23	H24	H25	H26	H27			
1-A-1	都市再生整備計画	一般	豊橋市	直接	豊橋市	牟呂坂津地区都市再生整備計画事業	都市再生区画整理 27ha	豊橋市						2,517		
1-A-2	都市再生整備計画	一般	豊橋市	直接	豊橋市	牛川西部地区都市再生整備計画事業	都市再生区画整理、公園事業等 48ha	豊橋市						2,661		
1-A-3	都市再生整備計画	一般	豊橋市	直接	豊橋市	柳生川南部地区都市再生整備計画事業	都市再生区画整理、公園事業等 90ha	豊橋市						4,234		
1-A-4	公園	一般	豊橋市	直接	豊橋市	都市公園事業(牛川公園)	用地買収0.11ha	豊橋市						69		
1-A-5	公園	一般	豊橋市	直接	豊橋市	都市公園事業(汐田公園)	用地買収0.52ha	豊橋市						367		
1-A-6	公園	一般	豊橋市	直接	豊橋市	都市公園事業(坂津公園)	用地買収0.15ha、物件補償9戸	豊橋市						321		
1-A-10	再開発	一般	豊橋市	直接	豊橋市	西小田原町地区暮らし・にぎわい再生事業	芸術文化交流施設整備 0.4ha	豊橋市						1,290	暮らし・にぎわい再生事業計画	
1-A-11	公園	一般	豊橋市	直接	豊橋市	都市公園事業(豊橋総合動植物公園)	園路及び広場、自然生態園整備(約5ha)	豊橋市						568		
									小計(道路事業)				12,027			
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	施設整備	一般	豊橋市	直接	豊橋市	公園ガーデンニング事業	既設公園等に花壇を設置(10㎡/箇所)	豊橋市						6	
1-C-2	施設整備	一般	豊橋市	直接	豊橋市	芸術文化交流施設関連施設整備事業	芸術文化交流施設関連施設の整備 0.4ha	豊橋市						2,679	
1-C-4	施設整備	一般	豊橋市	直接	豊橋市	豊橋総合動植物公園リニューアル関連施設整備事業	基本・実施設計、動物舎整備 6棟	豊橋市						120	
									合計				2,805		

番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考
1-C-1	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業(1-A'-8)で市内の公園を安心して利用できるよう整備するとともに、花壇を設置し地域住民のボランティア活動として花植え、水やりなどの管理を行ってもらい、花と緑に囲まれた潤いのある豊かな地域形成を推進し、公園愛護の高揚、地域住民のコミュニケーション機会の拡大と連帯感を図る。												
1-C-2	暮らし・にぎわい再生事業(1-A-10)で整備される芸術文化交流施設と一体的に整備することで、芸術文化交流施設の機能を補完し、中心市街地の活性化に寄与する。												
1-C-4	都市公園事業(1-A-11)のリニューアルする施設整備の基本・実施設計を行うことにより事業進捗の円滑を図り、また、老朽化の著しい駄舎等を一体的に整備することで快適な環境形成を図り、公園利用の促進に寄与する。												

その他関連する事業

計画等の名称													
安全で安心な豊橋の都市公園づくり(防災・安全)													
事業種別	交付対象	要素となる事業名 (事業箇所)					市町村名				全体事業費 (百万円)	備考	
1-A'-7	公園	豊橋市	都市公園事業(豊橋総合スポーツ公園)					豊橋市				158	防災・安全移行先
1-A'-8	公園	豊橋市	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業(豊橋市)					豊橋市				482	防災・安全移行先
1-A'-9	公園	豊橋市	公園施設長寿命化計画策定事業(豊橋市)					豊橋市				46	防災・安全移行先
1-C'-3	施設整備	豊橋市	非常用便所設置事業					豊橋市				22	防災・安全移行先

A'	686百万円	B'	0百万円	C'	22百万円	(C'+C)/((A+A')+(B+B')+(C+C'))	18.64%
----	--------	----	------	----	-------	-------------------------------	--------

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地区画整理事業地区内の建築行為許可件数の増加は、目標値には及ばなかったものの8割以上の達成率であることより、住みやすい環境が創出されたことにより人口定着・定住促進が図られている。 ・ 市民が身近に利用できる公園整備率が41.0%から41.2%になり、緑豊かなまちなみの形成を推進したことにより、快適な生活環境の確保が図られている。 ・ 駅東口周辺3定点における休日歩行者通行量の増加は、目標値には及ばなかったものの施設供用開始前年に比べ8%増加していることより、中心市街地に新たな魅力が創造されたことによりにぎわいの再生が図られている。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（土地区画整理事業地区内において、土地区画整理法第76条に基づく建築行為許可件数（住居建築に関する件数）の累計）	中間目標値	770件	目標値と実績値 に差が出た要因	一般に売り出す保留地について、土地価格の状況や地区内の整備状況により、売り出し時期を先送りしたことによる減少が大きい。
		中間実績値	695件		
	指標②（（市民が身近に利用できる公園整備率）＝（供用箇所数×〔平均供用面積/公園・緑地標準面積〕）/（住区数×1住区の公園・緑地標準箇所数）%）	中間目標値	41.20%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		中間実績値	41.20%		
	指標③（駅東口周辺の芸術文化交流施設に近い3定点における休日歩行者通行量を測定して合計する。）	中間目標値	19,100人/日	目標値と実績値 に差が出た要因	中間目標値は、歩行者通行量を18,298人（平成21年時点通行量）+900人（本施設整備による増加分）として、19,100人/日と算定したが中心市街地の休日歩行者通行量は、本施設供用前までに当初見込み（平成21年時点）より減少を続け、施設供用開始前年（平成24年）時点で16,172人/日（△2,126）となった。要因として考えられるのは、リーマンショックの影響が長引いたことや消費スタイルの変化（郊外の大型店舗での購買、インターネット販売の普及）による来街者の減少が考えられる。
		中間実績値	17,475人/日		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き都市再生整備計画事業をはじめ都市公園事業などを実施していくことにより、快適な生活環境を確保し人口定着・定住の促進を図っていく。 ・ 芸術文化交流施設での魅力あるソフト事業や周辺機能に影響を与える事業の展開を実施していくことにより、休日歩行者の増加を促し、中心市街地のにぎわい再生を図っていく。 					

(参考様式3)

(参考図面) 市街地整備

